

令和6年度 東峰村

ことしの予算

令和6年度の主な予算を紹介します。補助金に関しては先日配布した「東峰村の補助金一覧」をご覧ください。



日田彦山線BRT
ひこぼしライン

開業記念式典



記念式典



自然・伝統・文化を活かした魅力あるものづくり……………P1

- 畦畔保護工事（農林建設課）
- 森林環境整備事業（農林建設課）
- 有害鳥獣防護柵設置工事（農林建設課）
- 臼田彦山線BRT駅周辺整備事業（ふるさと推進課）
- 地域の特産品開発事業（ふるさと推進課）

美しく、安全で暮らしやすい村づくり……………P2

- 村道橋梁点検・補修改修工事（農林建設課）
- 村道延田・紙屋線改良工事（農林建設課）
- 緊急自然災害防止対策事業（農林建設課）

美しく、安全で暮らしやすい村づくり《災害復旧関連》……………P3

- 公共土木災害復旧工事(R5繰越含む)（農林建設課災害対策室）
- 農地・農業用施設復旧工事(R5繰越含む)（農林建設課災害対策室）
- 林道施設災害復旧工事(R5繰越含む)（農林建設課災害対策室）
- 地域防災がけ崩れ対策事業(R5繰越含む)（農林建設課災害対策室）

住民主役・行政と協働の持続可能な村づくり……………P4

- 地域おこし協力隊（ふるさと推進課・農林建設課）
- 地域コミュニティ協議会検討事業（総務企画課）
- 地域通貨システム拡張事業（ふるさと推進課）
- AIデマンド交通(オンデマンドタクシー)（ふるさと推進課）
- 地域活性化住宅建設事業(R5繰越含む)（農林建設課）

高齢者等にやさしく、子育てしやすい村づくり……………P5

- 学校給食調理業務委託事業（教育課）
- 買い物支援業務委託費（住民福祉課）

高齢者等にやさしく、子育てしやすい村づくり……………P5

- 小石原窯跡群(釜床1号窯)法面保護事業（教育課）

令和6年度 一般会計予算の概要……………P6～P8

村民の皆様には、日頃より村づくりにご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

昨年度は平成29年九州北部豪雨災害関連工事が完了に近づく中再び甚大な災害に見舞われました。道路・河川・農地の災害査定は、終了しましたが、補助要件を満たさない箇所の災害については、単独起債事業などにより、昨年度より引き続き対応してまいります。

一日も早く復旧・復興に向け、一丸となって進めてまいります。村民の皆様におかれましては工事に当たってご理解ご協力をお願いいたします。また昨年度の災害により、緊急的な財政出動が発生し、財政状況も一段と厳しいものとなっています。柔軟に活用できる財政調整基金は現在約8億4,861万円となり、平成29年度災害発生以前より約48%の減少となっております。今後、国や県にも財政的な支援を強く要望し、より一層補助金や起債を十分活用しながら事業を遅滞なく進めてまいりたいと思います。

このような厳しい財政状況の中、ふるさと納税は皆様のおかげにより令和5年度においても約3億円の納税をいただきました。そうした財源も考慮しながら今年度の予算編成を行いました。

今年度の予算は、災害復旧関連工事はもちろんのこと、昨年8月にBRTで再開したJR日田彦山線「ひこぼしライン」の駅周辺整備関連事業、生活の豊かさを享受するためのDX（デジタルトランスフォーメーション）事業の推進、地域協働を推進するためのコミュニティ協議会の発足などにも重点を置いた内容となっております。本年度も引き続き、村民の皆様が安心して生活ができる元気で活力ある村づくりに取り組み、職員一同、村民の皆様と一体となって事業遂行してまいります。ご理解ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

東峰村長 眞田 秀樹



ひこぼしライン 開業記念式典

自然・伝統・文化を活かした魅力あるものづくり

畦畔保護工事

(農林建設課)

福岡県農村整備総合事業補助金を活用し、石積畦畔コンクリート保護工事300mを実施予定です。

◆主な経費

工事請負費 1, 042万円

◆財源

国県補助金 521万円

受益者分担金 220万円

一般財源 301万円

【有害鳥獣防護柵設置工事 着工前 (大字宝珠山)】



【有害鳥獣防護柵設置工事 完了後 (大字宝珠山)】



森林環境整備事業 (農林建設課)

森林環境譲与税を活用し、森林所有者の管理意向を調査しています。調査の情報を基に森林施業へ繋げるとともに、生産される木材を活用する事業を行っていきます。

◆主な経費

委託費 1, 144万円

工事請負費 660万円

◆財源

国県補助金 1, 456万円

一般財源 348万円

有害鳥獣防護柵設置工事 (農林建設課)

福岡県鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、鳥獣侵入防止柵設置工事1,500mを実施予定です。

◆主な経費

工事請負費 2, 035万円

◆財源

国県補助金 968万円

受益者分担金 204万円

一般財源 863万円

日田彦山線BRT駅周辺整備事業

(ふるさと推進課)

日田彦山線BRT筑前岩屋駅・大行司駅・宝珠山駅周辺の整備について、工事や測量等を行います。

◆主な経費

委託料 5, 219万円

工事請負費 1億8, 662万円

◆財源

国県補助金 9, 398万円

日田彦基金 9, 971万円

一般財源 4, 512万円

【議会との協議しない事業も一部含まれています。】

地域の特産品開発事業

(ふるさと推進課)

新たな地域の特産品の開発のため、機器等を試験的に導入し、村の商工振興の一助とします。

◆主な経費

委託料 550万円

備品購入費 1, 115万円

◆財源

日田彦基金 924万円

一般財源 741万円

上記2事業について、予算は可決していますが、議会等との協議の上、進めていく事業です。

美しく、安全で暮らしやすい村づくり

村道橋梁点検・補修改修工事

(農林建設課)

村道橋梁の点検と経年劣化等により補修が必要となった箇所の補修改修工事を行います。
本年度改修箇所は釜床橋を予定しています。

◆主な経費

委託料	350万円
工事請負費	1,000万円

◆財源

国庫支出金	898万円
起債（過疎対策債）	450万円
一般財源	2万円

【釜床橋（大字小石原鼓）】



【村道延田・紙屋線(大字福井)】



村道延田・紙屋線改良工事

(農林建設課)

村道延田・紙屋線の幅員拡張工事を行います。

◆主な経費

工事請負費	5,000万円
-------	---------

◆財源

起債（過疎対策債）	5,000万円
-----------	---------

緊急自然災害防止対策事業

(農林建設課)

東峰村が管理する河川の防災工事を行います。
(下合水路、宝珠山原地区水路、蔵貫地区水路、東地区水路、サキバル地区水路、寺村地区水路、竹地区水路)

◆主な経費

委託料	4,400万円
工事請負費	5,000万円

◆財源

起債（緊急自然災害防止対策事業債）	9,400万円
-------------------	---------

【緊急自然災害防止対策事業 河川防災工事の一例】



原地区水路(大字福井) 工事予定箇所

美しく、安全で暮らしやすい村づくり 《 災害復旧関連 》

公共土木災害復旧工事（R5繰越含む） （農林建設課 災害対策室）

公共土木施設（R5繰越含む）の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
委託料	2, 000万円
工事請負費	4億4, 717万円
その他	27万円
◆財源	
国県補助金	3億1, 075万円
起債（災害復旧事業債）	
	1億5, 150万円
一般財源	519万円

農地・農業用施設災害復旧工事 （R5繰越含む）（農林建設課 災害対策室）

農地・農業用施設（R5繰越含む）の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
委託料	800万円
工事請負費	3億9, 350万円
負担金補助等	2, 145万円
◆財源	
国県補助金	1億9, 376万円
起債（災害復旧事業債）	
	7, 190万円
受益者分担金	548万円
一般財源	1億5, 181万円

林道施設災害復旧工事（R5繰越含む） （農林建設課 災害対策室）

林道施設の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
委託料	2, 000万円
工事請負費	4, 814万円
◆財源	
国県補助金	1, 028万円
起債（災害復旧事業債）	
	3, 610万円
一般財源	2, 176万円

地域防災がけ崩れ対策事業（R5繰越含む） （農林建設課 災害対策室）

地域防災がけ崩れ対策事業の災害復旧工事を行います。

◆主な経費	
委託料	3, 066万円
工事請負費	2億9, 094万円
◆財源	
国県補助金	2億7, 864万円
起債（災害復旧事業債）	
	3, 190万円
一般財源	1, 106万円

工事前



奥畑川河川災害復旧工事(小石原北区)



工事後

住民主役・行政と協働の持続可能な村づくり

地域おこし協力隊

(ふるさと推進課・農林建設課)

地域おこし協力隊制度を活用して、都市部の人材を東峰村に招聘し、村の活性化を図り、隊員の定住・定着につなげます。

◆主な経費（15名分）

報酬・活動費等 7, 342万円

◆財源

一般財源（特別交付税措置） 7, 342万円



地域コミュニティ協議会検討事業

(総務企画課)

持続可能な地域コミュニティに関し、検討するための協議会を行い、共助・住民協働の基盤整備を行います。

◆主な経費

旅費等 105万円
委託費 650万円
その他 80万円

◆財源

一般財源 835万円

地域通貨システム拡張事業

(ふるさと推進課)

昨年度導入したデジタル地域通貨（とほっぴペイ）にタクシー助成券やふるさと納税返礼品等との連携などを行い、地域経済の更なる活性化を目的としてデジタル地域通貨の機能を拡張します。

◆主な経費

委託料 3, 441万円

◆財源

国県補助金 1, 721万円

一般財源 1, 720万円

AIデマンド交通（オンデマンドタクシー）

(ふるさと推進課)

ドア・ツー・ドア方式で村内全域をカバーするAIを活用した乗合オンデマンドタクシーを運行します。

◆主な経費

委託料 2, 283万円

◆財源

起債（過疎対策債） 1, 430万円

一般財源 853万円

地域活性化住宅建設事業（R5繰越含む）

(農林建設課)

若者の定住促進や単身者向けの住宅を建設し、様々なニーズを捉えた暮らしやすい生活環境・定住促進の充実を図るため多様性のある設計の住宅を整備します。

◆主な経費

委託料他 187万円

工事費（建物） 1億8, 500万円

分担金 148万円

◆財源

起債（合併特例債） 1億7, 570万円

一般財源 1, 265万円

高齢者等にやさしく、子育てしやすい村づくり

学校給食調理業務委託事業

(教育課)

学校給食調理業務を委託することにより、調理員を安定的に確保し、安心・安全で持続可能な学校給食を目指すものです。

◆主な経費	
委託料	1, 410万円
◆財源	
一般財源	1, 410万円

買い物支援業務委託費

(住民福祉課)

村内の生鮮食料品や生活雑貨を取り扱う商店が減少し、買い物等が困難になった方等の支援のため移動スーパーを展開しています。

◆主な経費	
委託料	4, 175万円
◆財源	
起債(過疎対策債)	4, 100万円
一般財源	75万円

愛する心を育む人づくり



【小石原窯跡群(釜床1号窯)】

小石原窯跡群(釜床1号窯)法面保護事業

(教育課)

県指定文化財の小石原窯跡群(釜床1号窯)に隣接する不安定な法面について、法面保護工を施工し文化財の保護を行います。

◆主な経費	
工事請負費	1, 258万円
◆財源	
国県補助金	629万円
一般財源	629万円

※1 この「ことしの予算」には別途配布した「東峰村の補助金一覧」で紹介した事業は掲載していません。

◆特別会計等の予算の内容◆

★簡易水道事業会計(今年度より会計法適用により複式簿記となり、歳入歳出が同額とはなりません。)

収益的収入	1億 328万円	収益的支出	1億 88万円
資本的収入	1, 603万円	資本的支出	2, 714万円

収益的収支: 一事業年度において企業の経営活動に伴って発生する収益(収入)と費用(支出)

資本的収支: 建物等の建設といった支出効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元利償還等の費用と財源

★国民健康保険事業特別会計

歳入歳出総額 3億5, 877万円(昨年度比3, 982万円増)

主な増額理由は、保険給付費(一般被保険者)の増

★後期高齢者医療特別会計

歳入歳出総額 3, 972万円(昨年度比181万円減)

主な減額理由は、広域連合納付金(保険料等負担金)の減

48億3,693万円

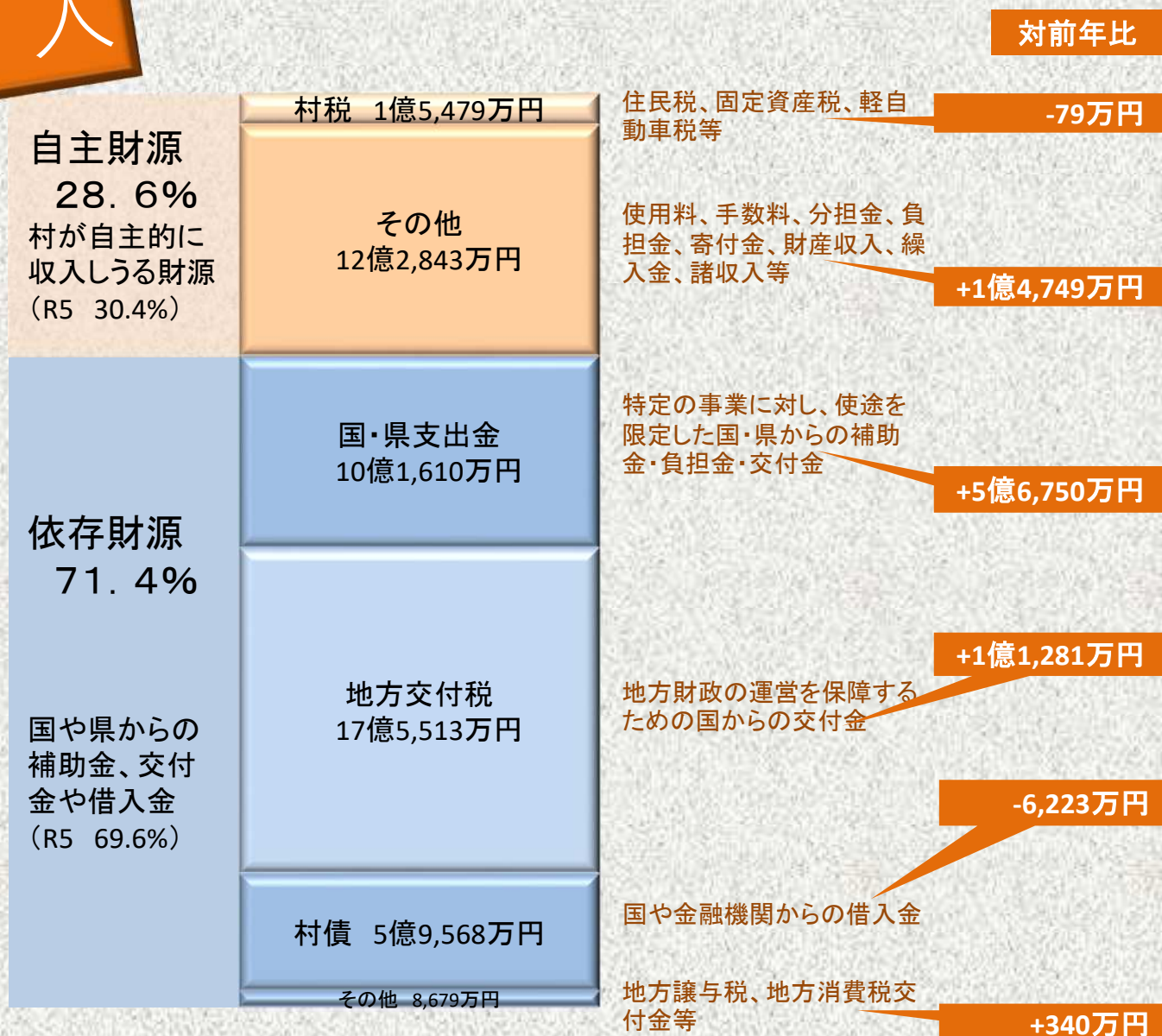
令和5年度 40億6,875万円

令和6年度当初予算は、前年度比7億6,818万円増の予算となっています。

増額の要因としては、公共土木施設災害復旧費（3億4,310万円増）、JR日田彦山線 駅周辺整備事業（2億4,662万円増）、農地農業用施設災害復旧費（1億7,200万円増）、住宅建設事業費（1億8,500万円増）、林道施設災害復旧費（4,999万円増）、地域防災がけ崩れ対策事業（4,644万円増）、災害派遣職員負担金（2,400万円増）、防犯灯設置工事（1,545万円増）、学校給食調理業務委託（1,410万円増）が主なものです。

減額の要因としては、防災無線機能強化事業（3億円減）、消防団車両購入事業（2,900万円減）AIオンデマンド交通車両購入・委託料（2,113万円減）、竹棚田駐車場整備（1,936万円減）が主なものです。

歳入



目的別経費

村全体の管理事務など(予備費含む)
 高齢者・児童・障がい者福祉など
 農林水産、商工業、観光など
 消防、防災など
 借入金の返済
 道路、河川、ダム関連、住宅など
 保健衛生、ゴミ、し尿処理など
 小・中学校、社会教育など
 議会の運営
 簡易水道事業特別会計への繰出し金
 災害復旧費

	5億円	10億円
総務費	16億7,607万円	
R5 (13億2,782万円)		
民生費	5億9,205万円	
R5 (5億7,058万円)		
農林水産商工費	4億2,126万円	
R5 (4億8,684万円)		
消防費	1億930万円	
R5 (4億4,917万円)		
公債費	4億3,041万円	
R5 (3億9,295万円)		
土木費	3億9,770万円	
R5 (2億5,917万円)		
保健衛生費	2億10万円	
R5 (2億472万円)		
教育費	1億5,154万円	
R5 (1億3,769万円)		
議会費	4,657万円	
R5 (4,688万円)		
諸支出金	1,869万円	
R5 (1,850万円)		
災害復旧費	7億9,324万円	
R5 (1億7,442万円)		

性質別経費

対前年比

義務的経費 29.8%
 支出が義務的で任意では削減できない経費。この割合が小さいほど財政の弾力性があるといわれる。
 (R5は33.1%)

投資的経費 28.8%
 建設事業、災害復旧事業など、支出の効果が単年度や短期的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる経費。
 (R5は21.1%)

その他経費 41.4%
 義務的経費、投資的経費に該当しない経費
 (R4は45.8%)

公債費 4億3,041万円

借入金の返済に要する経費

+3,746万円

人件費
7億9,181万円

一般職員の他、村長、副村長、教育長、議員及び各種委員の報酬など

+3,386万円

扶助費 2億2,033万円

児童、高齢者、障がい者などの福祉サービスに要する経費

+2,660万円

投資的経費
13億9,229万円

(内 災害復旧事業費
7億8,921万円)

普通建設事業及び災害復旧事業に要する経費

+5億3,276万円

物件費
12億7,420万円

消耗品、備品などの物品調達に係る経費や庁舎管理・行政運営に係る委託料など

+2,020万円

補助費等
6億256万円

各種団体に対する補助金や一部事務組合に対する負担金等の経費

-341万円

繰出し金 8,729万円
 積立金 2,324万円
 その他 1,482万円

国保、水道など特別会計への繰出し金
 財政調整基金や各種目的基金への積立金

+405万円

+677万円

維持補修費、貸付金、予備費

村債(借金)と基金(貯金)の状況について

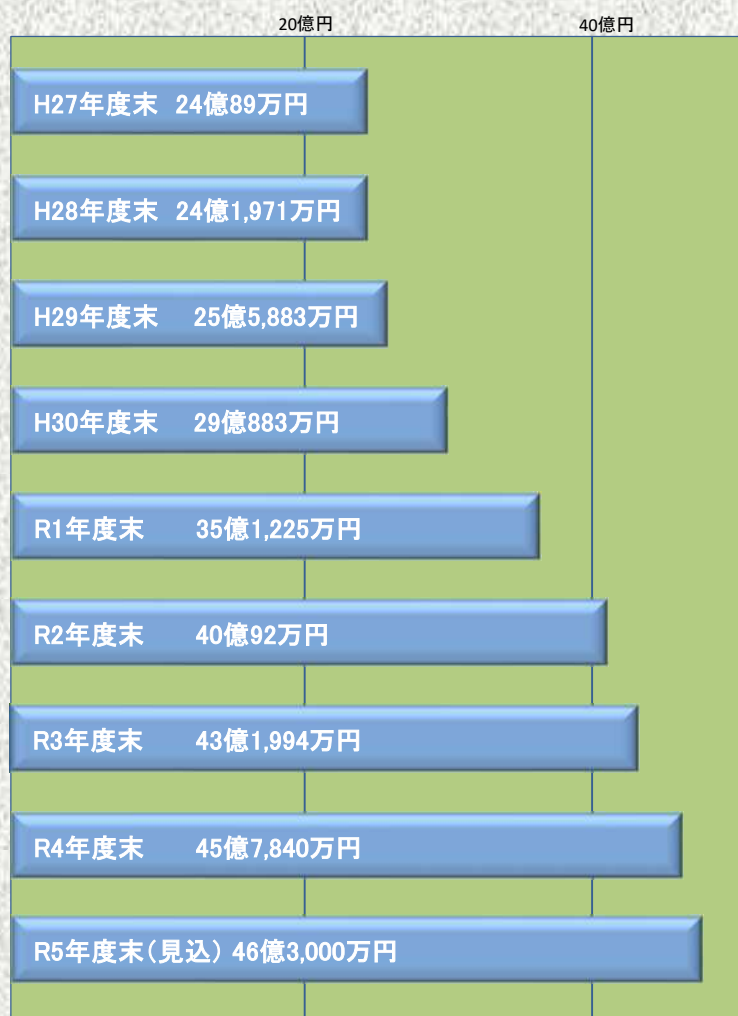
村債(村の借金)は、令和5年度末(見込)で46億3,000万円(一般会計)、前年度比で5,160万円の増となっています。増額の主な要因は平成29年九州北部豪雨、令和2年梅雨前線豪雨、令和3年8月豪雨、令和5年7月豪雨による災害復旧事業等に伴う借入れ、緊急自然災害防止対策事業(河川防災)、緊急防災減災事業(防災無線更新)に伴う借入れを行ったためです。

ただし、村の借金には、返済金の一部が国からの地方交付税で返ってくるものが大半を占めているため、実質的にはその3割程度となります。

令和5年度末(見込)の基金(村の貯金)残高は、33億7,587万円で、前年度比8,433万円増加しました。減少の主な要因として、財政調整基金や施設改修基金の取り崩しが大いものとなっています。

なお、村の財源補てんのために必要な時に使える「財政調整基金」の残高は、昨年より1億5千万円減の8億4,861万円です。財政調整基金が減少すると、村の弾力的な予算編成、執行ができなくなりますが、現状では概ね良好な財政運営になっています。

村では、こうした借金と貯金とのバランスや経済の動向を考え、将来にわたっての様々な財政分析をしながら効率的な財政運営に努めています。



村債(借金)の推移



基金(貯金)の推移



東峰村 ことしの予算

令和6年6月発行